

## 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、保険者が一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者を対象に、日常生活圏域ごとに、地域の抱える課題の特定に資することなどを目的として実施することになっており、調査項目等は国から示されるが、保険者における調査結果の活用目的に照らして、市独自の調査項目を設定することができる。令和7年度に国から調査項目等が示されるため、現時点では令和4年度に実施した調査項目と同様の設問を予定している。

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
1		(1)対象者の属性	問題番号無	記入者	調査票を記入されたのはどなたですか	1 あて名のご本人が記入 2 ご家族が記入(続柄) 3 その他			
2		(1)対象者の属性	問題番号無	本人の性別	あなたの性別をお答えください。	1 男性 2 女性 3 その他、または、答えたくない			
3		(1)対象者の属性	問題番号無	本人の年齢	あなたの年齢をお答えください。	1 65～69歳 2 70～74歳 3 75～79歳 4 80～84歳 5 85～89歳 6 90歳以上			
4		(1)対象者の属性	問題番号無	介護保険の認定状況	あなたの介護保険の認定状況について	1 認定を受けていない 2 事業対象者 3 要支援1 4 要支援2			
5		(2)家族や生活状況について	問1(1)	家族構成	家族構成をお教えてください。	1 1人暮らし 2 夫婦2人暮らし配偶者65歳以上 3 夫婦2人暮らし配偶者64歳以下 4 息子・娘との2世帯 5 その他	この設問は、家族構成を問う設問です。	高齢者の世帯状況やその地域分布を把握すること、世帯構成別の回答結果を把握することで、事業の対象者・対象地・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
6		(2) 家族や生活状況について	問1 (2)	介護・介助の状況	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 介護・介助は必要ない</li> <li>2 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない</li> <li>3 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)</li> </ul>	この設問は、主観的な介護の必要度を問う設問です。	要介護状態になる前の高齢者の介護の必要度を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
7		(2) 家族や生活状況について	問1 (2) ①	介護・介助の状況	【(2)において「1 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(〇はいくつでも)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)</li> <li>2 心臓病</li> <li>3 がん(悪性新生物)</li> <li>4 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)</li> <li>5 関節の病気(リウマチ等)</li> <li>6 認知症(アルツハイマー病等)</li> <li>7 パーキンソン病</li> <li>8 糖尿病</li> <li>9 腎疾患(透析)</li> <li>10 視覚・聴覚障害</li> <li>11 骨折・転倒</li> <li>12 脊椎損傷</li> <li>13 高齢による衰弱</li> <li>14 その他</li> <li>15 不明</li> </ul>	この設問は、介護・介助が必要になった原因を問う設問です。	要介護状態になる前の高齢者の介護・介助が必要になった原因を把握することにより、地域課題(要介護状態になる原因)の把握が可能になります。	

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
8		(2) 家族や生活状況について	問1(2)②	介護・介助の状況	【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】 ②主にどなたの介護、介助を受けていますか(○はいくつでも)	1 配偶者 夫・妻 2 息子 3 娘 4 子の配偶者 5 孫 6 兄弟・姉妹 7 介護サービスのヘルパー 8 その他	この設問は、介助者の詳細を問う設問です。	要介護状態になる前の高齢者の介護・介助の実態を把握することにより、地域課題(家族介護の実態)の把握が可能になります。	
9		(2) 家族や生活状況について	問1(3)	暮らしの状況	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。	1 大変苦しい 2 やや苦しい 3 ふつう 4 ややゆとりがある 5 大変 ゆとりがある	この設問は、主観的な経済状態を問う設問です。	高齢者の経済状態やその地域分布を把握すること、経済状態別の回答結果を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
10		(2) 家族や生活状況について	問1(4)	住居形態	お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。	1 持家(一戸建て) 2 持家(集合住宅) 3 公営賃貸住宅 4 民間賃貸住宅(一戸建て) 5 民間賃貸住宅(集合住宅) 6 借家 7 その他	この設問は、住宅の形態を問う設問です。	地域の高齢者の住まい(サービス付き高齢者向け住宅など)のニーズ把握・サービス整備の検討の際に活用することが可能になります。	
11		(3) からだを動かすことについて	問2(1)	運動機能の状況	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	この設問は、運動器の機能低下を問う設問です。	運動器の機能が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
12		(3) からだを動かすことについて	問2(2)	運動機能の状況	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	この設問は、運動器の機能低下を問う設問です。	運動器の機能が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
13		(3) からだを動かすことについて	問2(3)	運動機能の状況	15分位続けて歩いていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	この設問は、運動器の機能低下を問う設問です。	運動器の機能が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
14		(3) からだを動かすことについて	問2(4)	運動機能の状況	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1 何度もある 2 1度ある 3 ない	この設問は、転倒リスクを問う設問です。	転倒リスクのある高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
15		(3) からだを動かすことについて	問2(5)	運動機能の状況	転倒に対する不安は大きいですか。	1 とても不安を感じる 2 やや不安を感じる 3 あまり不安でない 4 不安でない	この設問は、転倒リスクを問う設問です。	転倒リスクのある高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
16		(3) からだを動かすことについて	問2(6)	外出の頻度	週に1回以上は外出していますか。	1 ほとんど外出しない 2 週1回 3 週2～4回 4 週5回以上	この設問は、閉じこもり傾向を問う設問です。	閉じこもり傾向のある高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
17		(3) からだを動かすことについて	問2(7)	外出の頻度	昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	1 とても減っている 2 減っている 3 あまり減っていない 4 減っていない	この設問は、閉じこもり傾向を問う設問です。	閉じこもり傾向のある高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
18		(3) からだを動かすことについて	問2(8)	外出控えの状況	外出を控えていますか。	1 はい 2 いいえ	この設問は、外出を控えている場合の原因を問う設問です。	閉じこもり傾向のある高齢者の原因を把握することにより、地域課題(閉じこもり傾向のある高齢者に不足している対策)の把握が可能になります。	
19		(3) からだを動かすことについて	問2(8)①	外出控えの状況	【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)	1 病気 2 障がい(脳卒中の後遺症など) 3 足腰などの痛み 4 トイレの心配(失禁など) 5 耳の障がい(聞こえの問題など) 6 目の障がい 7 外での楽しみがない 8 経済的に出られない 9 交通手段がない 10 その他	この設問は、外出を控えている場合の原因を問う設問です。	閉じこもり傾向のある高齢者の原因を把握することにより、地域課題(閉じこもり傾向のある高齢者に不足している対策)の把握が可能になります。	

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
20		(3) からだを動かすことについて	問2(9)	移動手段	外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)	1 徒歩 2 自転車 3 バイク 4 自動車(自分で運転) 5 自動車(人に乗せてもらう) 6 電車 7 路線バス 8 病院や施設のバス 9 車いす 10 電動車いす(カート) 11 歩行器・シルバーカー 12 タクシー 13 その他	この設問は、外出の際の移動手段を問う設問です。	高齢者の外出の際の移動手段の実態を把握することにより、地域課題(移動手段上の課題)の把握が可能になります。	
21		(4) 食べることについて	問3(1)	BMI	身長・体重	自由記載	この設問は、低栄養の傾向を問う設問です。	低栄養状態にある高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
22		(4) 食べることについて	問3(2)	口腔機能の状況	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1 はい 2 いいえ	この設問は、口腔機能の低下のうち咀嚼機能の低下を問う設問です。	口腔機能が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
23		(4) 食べることについて	問3(3)	口腔機能の状況	お茶や汁物等でおせることがありますか。	1 はい 2 いいえ	嚥下機能の低下を把握する設問です。	口腔機能が低下している高齢者の地域分布を把握することは、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
24		(4) 食べることに ついて	問3(4)	口腔機能の状況	口の渴きが気になりますか。	1 はい 2 いいえ	肺炎発症リスクを把握する設問です。	口腔機能が低下している高齢者の地域分布を把握することは、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
25		(4) 食べることに ついて	問3(5)	口腔ケアの状況	歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。	1 はい 2 いいえ	この設問は、口腔ケアに問う設問です。	日常の口腔ケアの状況を把握することにより口腔に関する地域課題の把握が可能になります。	
26		(4) 食べることに ついて	問3(6)	口腔ケアの状況	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)	1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	この設問は、義歯の有無と歯数を問う設問です。	高齢者の口腔の健康状態や義歯の使用状況の把握により、地域の歯科医療や口腔機能の向上に関するニーズの把握の参考になります。	
27		(4) 食べることに ついて	問3(6)①	口腔ケアの状況	噛み合わせは良いですか。	1 はい 2 いいえ	この設問は、咬合状態・義歯の管理を問う設問です。	咀嚼機能や口腔衛生の状況を把握することにより、口腔に関する地域課題の把握が可能になります。	
28		(4) 食べることに ついて	問3(6)①	口腔ケアの状況	【「1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答された方におうかがいします】 毎日入れ歯の手入れをしていますか。	1 はい 2 いいえ	この設問は、咬合状態・義歯の管理を問う設問です。	咀嚼機能や口腔衛生の状況を把握することにより、口腔に関する地域課題の把握が可能になります。	

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
29	○	(4) 食べることについて	問3(7)	かんで食べる時の状態	あなたはかんで食べる時の状態は、次のどれに当てはまりますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 何でも、かんで食べることができる</li> <li>2 一部、かめない食べ物がある</li> <li>3 かめない食べ物が多い</li> <li>4 かんで食べることはできない</li> </ul>	この設問は、かんで食べることに困難感があるかどうかを問う設問です。オーラルフレイルおよび低栄養の予防のために必要な事業や啓発方法を検討する際に活用することが可能になります。	外出頻度等フレイル状態をあらわす指標とともに把握し、オーラルフレイル予防のための啓発や事業の内容を検討する際に用いています。類似設問とされる口腔フレイルのリスク指標(問3-2・3・4)および口腔内の状態(問3-6)とは異なり、主観的な困難感を尋ねる設問であり、あわせて把握することで対象者の口腔機能面を包括的に評価し、比較することができるため必要です。	
30		(4) 食べることについて	問3(8)	体重減少の有無	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 はい</li> <li>2 いいえ</li> </ul>	この設問は、低栄養の傾向を問う設問です。	低栄養の傾向のある高齢者の地域分布を把握することは、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
31		(4) 食べることについて	問3(9)	共食の状況	どなたかと食事をともにする機会はありますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 毎日ある</li> <li>2 週に何度かある</li> <li>3 月に何度かある</li> <li>4 年に何度かある</li> <li>5 ほとんどない</li> </ul>	この設問は、孤食の状況を問う設問です。	閉じこもり傾向と孤食の関係性を把握することで、地域課題(閉じこもり傾向の原因)の把握が可能になります。	
32		(5) 毎日の生活について	問4(1)	認知機能の状況	物忘れが多いと感じますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 はい</li> <li>2 いいえ</li> </ul>	この設問は、認知機能の低下を問う設問です。	認知機能が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
33		(5) 毎日の生活について	問4(2)	認知機能の状況	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。	1 はい 2 いいえ	この設問は、認知機能の低下を問う設問です。	認知機能が低下している高齢者の地域分布を把握することは、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
34		(5) 毎日の生活について	問4(3)	認知機能の状況	今日が何月何日かわからない時がありますか。	1 はい 2 いいえ	この設問は、認知機能の低下を問う設問です。	認知機能が低下している高齢者の地域分布を把握することは、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
35		(5) 毎日の生活について	問4(4)	手段的日常生活動作の状況	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	この設問は、IADL の低下を問う設問です。	IADL が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
36		(5) 毎日の生活について	問4(5)	手段的日常生活動作の状況	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	この設問は、IADL の低下を問う設問です。	IADL が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
37		(5) 毎日の生活について	問4(6)	手段的日常生活動作の状況	自分で食事の用意をしていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	この設問は、IADL の低下を問う設問です。	IADL が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
38		(5) 毎日の生活について	問4(7)	手段的日常生活動作の状況	自分で請求書の支払いをしていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	この設問は、IADL の低下を問う設問です。	IADL が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
39		(5) 毎日の生活について	問4(8)	手段的日常生活動作の状況	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	この設問は、IADL の低下を問う設問です。	IADL が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
40		(5) 毎日の生活について	問4(9)	知的能動性の状況	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。	1 はい 2 いいえ	この設問は、老研式活動能力指標に基づく知的能動性の低下を問う設問です。	本指標が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
41		(5) 毎日の生活について	問4(10)	知的能動性の状況	新聞を読んでいますか。	1 はい 2 いいえ	この設問は、老研式活動能力指標に基づく知的能動性の低下を問う設問です。	本指標が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
42		(5) 毎日の生活について	問4(11)	知的能動性の状況	本や雑誌を読んでいますか。	1 はい 2 いいえ	この設問は、老研式活動能力指標に基づく知的能動性の低下を問う設問です。	本指標が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
43		(5) 毎日の生活について	問4(12)	知的能動性の状況	健康についての記事や番組に関心がありますか。	1 はい 2 いいえ	この設問は、老研式活動能力指標に基づく知的能動性の低下を問う設問です。	本指標が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
44		(5) 毎日の生活について	問4(13)	他者との関わりの状況	友人の家を訪ねていますか。	1 はい 2 いいえ	この設問は、他者との関わりについて問う設問です。	地域課題（他者との関わりの低さ）の把握が可能となります。	
45		(5) 毎日の生活について	問4(14)	他者との関わりの状況	家族や友人の相談にのっていますか。	1 はい 2 いいえ	この設問は、他者との関わりについて問う設問です。	地域課題（他者との関わりの低さ）の把握が可能となります。	
46		(5) 毎日の生活について	問4(15)	他者との関わりの状況	病人を見舞うことができますか。	1 はい 2 いいえ	この設問は、他者との関わりについて問う設問です。	地域課題（他者との関わりの低さ）の把握が可能となります。	
47		(5) 毎日の生活について	問4(16)	他者との関わりの状況	若い人に自分から話しかけることがありますか。	1 はい 2 いいえ	この設問は、他者との関わりについて問う設問です。	地域課題（他者との関わりの低さ）の把握が可能となります。	
48		(5) 毎日の生活について	問4(17)	趣味や生きがいの有無	趣味はありますか。	1 趣味あり(具体的に：) 2 思いつかない	この設問は、趣味・生きがいを問う設問です。	本項目と社会参加の関係性を把握することにより、社会参加する高齢者の傾向の把握が可能になります。	
49		(5) 毎日の生活について	問4(18)	趣味や生きがいの有無	生きがいはありますか。	1 生きがいあり(具体的に：) 2 思いつかない	この設問は、趣味・生きがいを問う設問です。	本項目と社会参加の関係性を把握することにより、社会参加する高齢者の傾向の把握が可能になります。	

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
50		(6) 地域での活動について	問5(1)	地域の会・グループ等への参加状況	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 ※① - ⑧それぞれに回答してください。(それぞれ○はひとつ)	<a href="#">介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 P9 参照</a>	この設問は、社会参加活動や、就業状況を問う設問です。		
51		(6) 地域での活動について	問5(2)	地域の会・グループ等への参加意向	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。	1 是非参加したい 2 参加してもよい 3 参加したくない 4 既に参加している	この設問は、地域づくりへの参加意向を問う設問です。	地域づくりに対して「参加者として」「企画・運営（お世話役として）」の両方の立場における参加の意向を把握することが可能になります。	
52		(6) 地域での活動について	問5(3)	地域の会・グループ等への参加意向	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。	1 是非参加したい 2 参加してもよい 3 参加したくない 4 既に参加している			

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
53	○	(7) 介護予防について	問6(1)	介護予防についての意識	あなたは、介護予防についてどれほど意識していますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 意識している</li> <li>2 やや意識している</li> <li>3 あまり意識していない</li> <li>4 意識していない</li> </ul>	この設問は、介護予防の取り組みについての意識を問う設問です。介護予防を啓発する際により有効な事業や方法を検討する際に活用することが可能になります。	介護予防を啓発する際には、対象がどの程度取り組む意識を持っているかによってアプローチ方法を変える必要があります。例えば、介護予防に対する意識の低い人がどのような媒体から情報を得たり、どのような目的で外出したりするのかを把握することによって、より効果的な啓発手段を検討する際に用いています。	一般高齢者のみ
54	○	(7) 介護予防について	問6(2)①	介護予防としての取り組み	あなたが、介護予防として、今取り組んでいること、今後取り組んでみたいことに○をつけてください。今取り組んでいること(○はいくつでも)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 体操や運動により体力を維持する</li> <li>2 栄養バランスの取れた食事をとる</li> <li>3 歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口のなかの健康を保つ</li> <li>4 町会、老人クラブなどの地域活動やボランティア活動に参加する</li> <li>5 趣味や学習を楽しむ</li> <li>6 近所の人や友達と交流する</li> <li>7 掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする</li> <li>8 健診(検診)や保健指導を受けたりかかりつけ医の指示どおりに受診したりする</li> <li>9 仕事をする</li> <li>10 介護予防ポイント事業</li> <li>11 百歳体操(いきいき・かみかみ・しゃきしゃき)</li> <li>12 その他</li> <li>13 特にない</li> </ul>	この設問は、介護予防の取り組み状況を問う設問です。取り組んでいる人・取り組みたい人の多い内容を把握することで、よりニーズの高い介護予防事業の内容を企画検討する際に活用することが可能になります。	年齢や要介護状態区分・日常生活圏域によって異なるニーズに対応した事業を企画検討するにあたり不可欠です。	一般高齢者のみ
55	○	(7) 介護予防について	問6(2)②	介護予防としての取り組み	あなたが、介護予防として、今取り組んでいること、今後取り組んでみたいことに○をつけてください。今後取り組んでみたいこと(○はいくつでも)	<ul style="list-style-type: none"> <li>9 仕事をする</li> <li>10 介護予防ポイント事業</li> <li>11 百歳体操(いきいき・かみかみ・しゃきしゃき)</li> <li>12 その他</li> <li>13 特にない</li> </ul>	この設問は、介護予防の取り組み状況を問う設問です。取り組んでいる人・取り組みたい人の多い内容を把握することで、よりニーズの高い介護予防事業の内容を企画検討する際に活用することが可能になります。	年齢や要介護状態区分・日常生活圏域によって異なるニーズに対応した事業を企画検討するにあたり不可欠です。	一般高齢者のみ

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
56	○	(7) 介護予防について	問6(3)	介護予防としての取り組み	【①または②で「13 特にない」と回答された方におうかがいします】問 あなたが、介護予防について、取り組んでいない、または、取り組んでみたいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから</li> <li>2 どのように取り組んでいいのかわからないから</li> <li>3 外に出るのがおっくうだから</li> <li>4 持病があったり、体調が悪くてできないから</li> <li>5 今は取り組んでいないが、今後取り組もうと思っている</li> <li>6 一緒に取り組む人がいないから</li> <li>7 その他</li> </ul>	この設問は、介護予防に取り組んでいない、または、取り組んでみたいと思わない理由を問う設問です。介護予防の取り組みにつながっていない理由を把握することで、啓発する際のアプローチ方法などを検討するにあたり、活用することが可能になります。	年齢や要介護状態区分・日常生活圏域によって異なるニーズに対応した事業を企画検討するにあたり不可欠です。	一般高齢者のみ
57		(8) たすけあいについて	問7(1)	心配事や愚痴を聞いてくれる人	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(○はいくつでも)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 配偶者</li> <li>2 同居の子ども</li> <li>3 別居の子ども</li> <li>4 兄弟姉妹・親戚・親・孫</li> <li>5 近隣</li> <li>6 友人</li> <li>7 その他</li> <li>8 そのような人はいない</li> </ul>	この設問は、たすけあいの状況を把握する設問です。	たすけあいの状況と関係性がある、その地域のうつ傾向の発生状況を、間接的に把握することが可能になります。	
58		(8) たすけあいについて	問7(2)	心配事や愚痴を聞いてくれる人	反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(○はいくつでも)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 配偶者</li> <li>2 同居の子ども</li> <li>3 別居の子ども</li> <li>4 兄弟姉妹・親戚・親・孫</li> <li>5 近隣</li> <li>6 友人</li> <li>7 その他</li> <li>8 そのような人はいない</li> </ul>	この設問は、たすけあいの状況を把握する設問です。	たすけあいの状況と関係性がある、その地域のうつ傾向の発生状況を、間接的に把握することが可能になります。	

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
59		(8) たすけあいについて	問7(3)	心配事や愚痴を聞いてくれる人	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(〇はいくつでも)	1 配偶者 2 同居の子ども 3 別居の子ども 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5 近隣 6 友人 7 その他 8 そのような人はいない	この設問は、たすけあいの状況を把握する設問です。	たすけあいの状況と関係性がある、その地域のうつ傾向の発生状況を、間接的に把握することが可能になります。	
60		(8) たすけあいについて	問7(4)	心配事や愚痴を聞いてくれる人	反対に、看病や世話をしてくれる人(〇はいくつでも)	1 配偶者 2 同居の子ども 3 別居の子ども 4 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5 近隣 6 友人 7 その他 8 そのような人はいない	この設問は、たすけあいの状況を把握する設問です。	たすけあいの状況と関係性がある、その地域のうつ傾向の発生状況を、間接的に把握することが可能になります。	
61		(8) たすけあいについて	問7(5)	心配事や愚痴を聞いてくれる人	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(〇はいくつでも)	1 自治会・町内会・老人クラブ 2 社会福祉協議会・民生委員 3 ケアマネジャー 4 医師・歯科医師・看護師 5 地域包括支援センター・役所・役場 6 その他 7 そのような人はいない	この設問は、地域の相談経路を問う設問です。	地域の相談窓口の活用状況を把握することが可能となります。	
62		(8) たすけあいについて	問7(6)	友人・知人との交流状況	友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。	1 毎日ある 2 週に何度かある 3 月に何度かある 4 年に何度かある 5 ほとんどない	この設問は、友人関係を問う設問です。	事業を展開したことにより、地域でのつながりがどの程度増えたかをモニタリングすることが可能となります。	

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
63		(8) たすけあいについて	問7(7)	友人・知人との交流状況	この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。	1 0人(いない) 2 1~2人 3 3~5人 4 6~9人 5 10人以上	この設問は、友人関係を問う設問です。	事業を展開したことにより、地域でのつながりがどの程度増えたかをモニタリングすることが可能となります。	
64		(8) たすけあいについて	問7(8)	友人・知人との交流状況	よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)	1 近所・同じ地域の人 2 幼なじみ 3 学生時代の友人 4 仕事での同僚・元同僚 5 趣味や関心が同じ友人 6 ボランティア等の活動での友人 7 その他 8 いない	この設問は、友人関係を問う設問です。	事業を展開したことにより、地域でのつながりがどの程度増えたかをモニタリングすることが可能となります。	
65		(9) 健康について	問8(1)	主観的健康観	現在のあなたの健康状態はいかがですか。	1 とてもよい 2 まあよい 3 あまりよくない 4 よくない	この設問は、主観的健康感を問う設問です。	要介護状態になる前の高齢者の主観的健康感を把握することで、地域の健康度のアウトカム指標として活用することが可能になります。	
66		(9) 健康について	問8(2)	主観的幸福観	あなたは、現在どの程度幸せですか。(〇はひとつ) (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)	<a href="#">介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 PI3 参照</a>	この設問は、主観的幸福感を問う設問です。	うつ傾向との関係性も想定される、要介護状態になる前の高齢者の主観的幸福感を把握することで、地域の(精神面での)健康度のアウトカム指標として活用することが可能になります。	

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
67	○	(9) 健康について	問8(3)	現在の生活の満足度	あなたの現在の生活の満足度は次のどれにあてはまりますか。	1 満足 2 やや満足 3 やや満足でない 4 満足でない	この設問は、心の健康状態を把握するための設問です。 高齢期のうつとフレイルは密接に関連しており、心の健康状態によってフレイル予防のアプローチ方法も検討を要するため、対象者の心の健康状態を正しく把握する必要があります。	この設問は、後期高齢者医療制度の健診で用いられる「後期高齢者の質問票」と同じ項目です。大阪市では、この設問の回答と他の項目との関連に着目して事業（ハイリスク高齢者の家庭訪問事業）を展開しており、類似設問として挙げられている主観的幸福感に加えて、この設問を採用しています。把握した内容は、うつ予防のための啓発や事業の内容を検討する際に用いることとしています。	
							この設問は、現在の生活の満足度について問う設問です。 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられる体制づくりの実現に向けた必要な施策の検討が可能になります。	事業の進捗管理を行うための評価指標として活用します。	
68		(9) 健康について	問8(4)	ゆううつな気持ちになったりすること	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1 はい 2 いいえ	この設問は、うつ傾向を問う設問です。	うつ傾向の高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
69		(9)健康について	問8(5)	ゆううつ感や物事に対する興味の喪失感	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1 はい 2 いいえ	この設問は、うつ傾向を問う設問です。	うつ傾向の高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。	
70		(9)健康について	問8(6)	飲酒習慣	お酒は飲みますか。	1 ほぼ毎日飲む 2 時々飲む 3 ほとんど飲まない 4 もともと飲まない	この設問は、飲酒の習慣を問う設問です。	高齢者の健康寿命に影響を与えると考えられる本項目と他項目の関係性を把握することにより、地域の高齢者の特性把握が可能になります。	
71		(9)健康について	問8(7)	喫煙習慣	タバコは吸っていますか。	1 ほぼ毎日吸っている 2 時々吸っている 3 吸っていたがやめた 4 もともと吸っていない	この設問は、タバコの習慣を問う設問です。	高齢者の健康寿命に影響を与えると考えられる本項目と他項目との関係性を把握することで、地域の高齢者の特性把握が可能になります。	

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
72		(9) 健康について	問8(8)	治療中や後遺症のある病気	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)	1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症(脂質異常) 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 11. 外傷(転倒・骨折等) 12. がん(悪性新生物) 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病 15. 認知症(アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病 17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他	この設問は、現在治療中の病気等を問う設問です。	認定を受けていない高齢者の既往を把握することで、要介護状態になる原因等の地域課題の把握が可能になります。	
73	○	(9) 健康について	問8(9)	新型コロナウイルス感染症対策の実施	新型コロナウイルス感染症に対する感染対策を行っていますか。	1 行っている 2 行っていない	<b>削除検討設問</b>		一般高齢者のみ <削除理由> コロナ禍の実態把握を目的として行っていた調査のため。

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
74	○	(9) 健康について	問8(10)	行っている感染症対策	【「1 行っている」と回答された方におうかがいします】あなたが行っている感染対策はどのようなものですか。(○はいくつでも)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 人と話す時は間隔を空けている(2m以上)</li> <li>2 会話の際は真正面を避けている</li> <li>3 大人数が集まる場所を避けている</li> <li>4 こまめに手洗い・手指消毒をしている</li> <li>5 こまめな換気を心掛けている</li> <li>6 外食をする場合は、少人数・短時間を心掛けている</li> <li>7 外食をする場合は、マスク会食をしている</li> <li>8 その他</li> </ul>	削除検討設問		一般高齢者のみ <削除理由> コロナ禍の実態把握を目的として行っていた調査のため。
75	○	(9) 健康について	問8(11)	新型コロナウイルス感染症に感染した経験	あなたは、新型コロナウイルス感染症に感染した経験はありますか。(本調査は個人を特定するものではありません)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 ある</li> <li>2 ない</li> <li>3 わからない</li> <li>4 答えたくない</li> </ul>	削除検討設問		一般高齢者のみ <削除理由> コロナ禍の実態把握を目的として行っていた調査のため。
76	○	(9) 健康について	問8(12)	かかりつけの医師の訪問診療の有無	かかりつけの医師はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 かかりつけの医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)</li> <li>2 かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)</li> <li>3 かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない</li> <li>4 かかりつけの医師がいない</li> </ul>	この設問は在宅医療の希望に対する実際について主観的に問う設問です。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられる体制づくりの実現に向けた必要な施策の検討が可能になります。	事業の進捗管理を行うための評価指標として活用します。	一般高齢者のみ

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
77	○	(9) 健康について	問8(13)	かかりつけの歯科医師の訪問歯科の有無	かかりつけの歯科医師はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくださいか。	1 かかりつけの歯科医師がいて、自宅に来てくれる(と思う) 2 かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う) 3 かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない 4 かかりつけの歯科医師がいない	この設問は在宅医療の希望に対する実際について主観的に問う設問です。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられる体制づくりの実現に向けた必要な施策の検討が可能になります。	事業の進捗管理を行うための評価指標として活用します。	一般高齢者のみ
78	○	(9) 健康について	問8(14)	かかりつけの薬剤師・薬局の在宅訪問の有無	かかりつけの薬剤師・薬局はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくださいか。	1 かかりつけの薬剤師・薬局があり、自宅に来てくれる(と思う) 2 かかりつけの薬剤師・薬局があるが、自宅に来てくれない(と思う) 3 かかりつけの薬剤師・薬局があるが、自宅に来てくれるかはわからない 4 かかりつけの薬剤師・薬局がない	この設問は在宅医療の希望に対する実際について主観的に問う設問です。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられる体制づくりの実現に向けた必要な施策の検討が可能になります。	事業の進捗管理を行うための評価指標として活用します。	一般高齢者のみ
79		(10) 認知症にかかる相談窓口の把握について	問9(1)	認知症の症状の有無	認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人がいますか。	1 はい 2 いいえ	この設問は、家族を含め認知症の有無を問う設問です。	認知症施策推進大綱において、認知症に関する相談体制を地域ごとに整備していくことが求められており、その目標となる相談窓口の認知度について、関係者(認知症当事者本人及び家族)と住民(本人及び家族以外)の属性の把握が可能となります。	

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
80		(10) 認知症にかかる相談窓口の把握について	問9(2)	認知症に関する相談窓口の認知度	認知症に関する相談窓口を知っていますか。	1 はい 2 いいえ	この設問は、認知症に関する相談窓口の認知度を把握するための設問です。	認知症に関する相談窓口の認知度を把握し、周知の必要性等の課題の把握が可能となります。	
81	○	(10) 認知症にかかる相談窓口の把握について	問9(3)	知っている認知症に関する相談窓口	【「1 はい」と回答された方におうかがいします】あなたが認知症に関する相談窓口として知っているところはどこですか。(○はいくつでも)	1 かかりつけの医師 2 地域の精神科・神経内科などの医療機関 3 認知症疾患医療センター 4 民生委員・町会などの地域役員 5 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者 6 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホームなどの介護保険事業者 7 地域包括支援センターまたは総合相談窓口(プランチ) 8 認知症初期集中支援チーム(通称「オレンジチーム」) 9 区役所・保健福祉センター 10 その他	この設問は、知っている認知症に関する相談窓口を問う設問です。相談窓口ごとの認知度を把握することで、相談窓口の効果的な周知の検討の際に活用することが可能になります。	認知症に関する相談窓口周知業務の効果測定に使用するとともに、認知度の高い相談窓口を把握することで、認知症の早期発見、早期対応に向けた体制を検討する際に用いることとしています。	一般高齢者のみ

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
82	○	(10) 認知症にかかる相談窓口の把握について	問9(4)	認知症について不安に感じるときの相談相手	あなたは、あなた又はあなたのご家族が認知症について不安に感じるときは、どちらに相談されますか。(○はいくつでも)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 かかりつけの医師</li> <li>2 地域の精神科・神経内科などの医療機関</li> <li>3 認知症疾患医療センター</li> <li>4 民生委員・町会などの地域役員</li> <li>5 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者</li> <li>6 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホームなどの介護保険事業者</li> <li>7 地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ブランチ)</li> <li>8 認知症初期集中支援チーム(通称「オレンジチーム」)</li> <li>9 区役所・保健福祉センター</li> <li>10 どこに相談すればいいかわからない</li> <li>11 その他</li> </ul>	この設問は、認知症についての相談先を問う設問です。認知症についての相談先を把握することで、認知症の早期発見、早期対応に向けた効果的な体制の検討の際に活用することが可能になります。	認知症についての相談先を把握することで、認知症の早期発見、早期対応に向けた体制を検討する際に用いることとしています。	一般高齢者のみ
83		(11) 介護サービスの利用前後の健康状態について	問9(1)	介護サービスの利用前後の健康状態	あなたが訪問(家に来てもらう)介護サービスや通所(介護施設に通う)介護サービスを利用する前の健康状態はいかがでしたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 よかった</li> <li>2 まあよかった</li> <li>3 あまりよくなかった</li> <li>4 よくなかった</li> </ul>	この設問は、主観的健康観を問う設問です。	主観的健康観を把握することで、一般介護予防事業を含め、総合事業全体の評価に活用します。	総合事業利用者のみ
84		(11) 介護サービスの利用前後の健康状態について	問9(2)	介護サービスの利用前後の健康状態	あなたが訪問(家に来てもらう)介護サービスや通所(介護施設に通う)介護サービスを利用した後(現在も利用中であれば現在の状態)の健康状態はいかがでしたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 よかった(よい)</li> <li>2 まあよかった(まあよい)</li> <li>3 あまりよくなかった(あまりよくない)</li> <li>4 よくなかった(よくない)</li> </ul>	この設問は、主観的健康観を問う設問です。	主観的健康観を把握することで、一般介護予防事業を含め、総合事業全体の評価に活用します。	総合事業利用者のみ

NO.	独自設問	大項目	問	設問	質問内容	選択肢	設問の意図	調査結果の活用方法	備考
85		(11) 介護サービスの利用前後の健康状態について	問9(2)	訪問介護サービスや通所介護サービスの満足度	あなたは、訪問(家に来てもらう)介護サービスや通所(介護施設に通う)介護サービスを利用して満足されましたか。	1 満足している 2 やや満足している 3 やや満足していない 4 満足していない 5 わからない	この設問は、介護サービスの満足度を問う設問です。	介護サービスの満足度を把握することで、総合事業の事業評価に活用します。	総合事業利用者のみ
86	○	(12) 高齢者向けのお知らせ等、情報の入手先について	問10(1)	高齢者向けのお知らせ等、情報の入手先	あなたは、高齢者向けのお知らせや健康・介護予防に関する情報をどこから得ていますか。	1 ご家族・友人・知人 2 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者 3 民生委員 4 町会・自治会・地域活動協議会、地域社会福祉協議会など、地域で見守り活動を行っている団体 5 地域ネットワーク委員・推進員や福祉のコーディネーター(地域福祉活動などの調整役) 6 区社会福祉協議会 7 老人福祉センター 8 区役所・保健福祉センター 9 「区政だより」や「くらしの便利帳」など広報紙 10 市のホームページ(インターネット)、メールマガジンなど 11 新聞・テレビ・ラジオなど 12 その他 13 特にない	この設問は、高齢者向けの支援や健康に関する情報等をどこで入手しているかを問う設問です。情報の入手経路としてどこが多いかを把握することで、介護予防啓発のための効果的な周知の検討の際に活用することが可能になります。	介護予防に関する普及啓発業務の効果測定に使用するとともに、より身近で頻度の高い情報入手経路を把握することで、介護予防について効果的に情報発信できる体制を検討する際に用いています。	一般高齢者のみ